年　　月　　日

研究公正チュートリアル受講修了証

指導教員

職名：

氏名： 印

研究公正の基本に関し、以下のとおり、対面型チュートリアルを受講したことを証明します。

受講生

専攻： 学年：

氏名：

チュートリアル

面談日：

チュータ※：

同時に面談を受けた人数（3名以下）： 名

内容※※：

※ チュータは、原則として指導教員としてください。教育効果を期待して、ポスドク等をチュータとすることもできますが、その場合は、内容の適切さの確認を指導教員が行ってください。

※※ 「内容」については、裏面のチュートリアル手順例を基本として、例えば、下記のように記載してください。

・チュートリアル推奨手順に従って実施した

・テキストを熟読の上、チュータが理解度の確認を行った、等

◆留学生及び出国予定のある日本人に対する確認事項

①出国時に研究室の機材・技術等を持ち出す予定がある　　　　 　□はい　　□いいえ

②後日、研究室の機材・技術等を輸出する予定がある 　　　 　　　□はい　　□いいえ

→はい　の場合は別紙（様式2・事前確認シート）も併せてご提出ください。その場合、許可が下りるまで出国できませんのでご了承ください。

チュートリアル推奨手順

1） チュータ、受講者の双方が日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html> を熟読

2) テキストの内容を受講者が要約説明

3) チュータが受講者に対して、要約説明の内容についての質疑を行う

4) 当該分野で特に問題となる箇所、当該分野の慣習等について議論する